



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 互応化学工業株式会社

コード番号 4962 URL <http://www.goo-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤村 春輝

問合せ先責任者 (役職名) 経理部部长 (氏名) 荒田 圭久 TEL 0774-46-7777

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	4,651	△12.7	313	5.3	296	△8.9	204	△0.2
2020年3月期第3四半期	5,329	△1.3	298	△0.5	325	3.1	204	14.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 270百万円 (29.6%) 2020年3月期第3四半期 208百万円 (138.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	32.39	—
2020年3月期第3四半期	32.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	15,948	14,026	87.7
2020年3月期	16,210	14,008	86.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 13,993百万円 2020年3月期 13,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,200	△12.8	355	△17.2	355	△25.2	240	△24.2	37.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	6,992,000株	2020年3月期	6,992,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	699,882株	2020年3月期	669,882株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	6,316,118株	2020年3月期3Q	6,322,118株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済情勢は、新型コロナウイルス感染症の感染が国内外において大幅に増加傾向に転じたことから、経済活動は引き続き大きな影響を受けることとなりました。今後、ワクチン投与が実施され感染者数の抑制と消費者心理の改善が期待されますが、その効果には不透明な部分も大きく、まだ予断を許さない状況が続いております。

当社グループにおきましては、現在取り組んでいる様々な分野において新型コロナウイルス感染症の影響を受けるなか、ウイルス感染予防策を実施しながら、現場の状況を理解したスペシャリストが細かく対応し、取引先とともに製品を創り上げて行く従来のスタイルを継続してきました。新たな分野への取り組みについては、さらなる高付加価値製品を生み出すために各取引先との連携をより密にしながら挑戦し続けてまいりました。また、管理部門や生産部門においては、業務効率の改善や製造経費等の削減努力を引き続き実施してきました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,651百万円（前年同期比12.7%減）、営業利益は313百万円（同5.3%増）、経常利益は296百万円（同8.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は204百万円（同0.2%減）の減収減益となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(反応系製品)

繊維関係は、国内市場は引き続き回復の兆しが見えず、北陸市場への発注が前年同期を大きく下回り、海外市場においても、中国市場は回復の兆しが少し見えるものの、当社グループがターゲットとする高級衣料分野が低迷し、加えて国内外ともに新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全体では前年同期を大きく下回る結果となりました。

製紙・印刷関係は、紙加工分野の出版物減少、パッケージ減少、またダイレクトメール用圧着ニスも減少と、一般的な市場縮小傾向が続いているなか、さらに新型コロナウイルス感染症の影響もあり、G o T o キャンペーン実施で一時的な回復の兆しがあったものの、全体として前年同期を下回る結果となりました。

化粧品関係は、国内外市場ともに引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、テレワーク等働き方の変化および外出自粛等の影響でヘアセット用樹脂の低迷は続いており、一方、洗浄剤用樹脂は洗浄系商品の国内消費が堅調で好調を維持したもののヘアセット用樹脂の減少をカバーするまでには至らず、全体として前年同期を下回る結果となりました。

その他工業用分野は、水溶性ポリエステル樹脂では国内外ともに、引き続き繊維関係は低迷したもののフィルム関係は全体的に好調を維持し、また海外フィルム市場で新規ユーザーでの採用および使用も堅調に推移し、全体として前年同期を上回る結果となりました。転写関係の国内市場はリノベーション関連が堅調でしたが、海外市場を含め新型コロナウイルス感染症の影響によるコップやお皿の景品企画がなくなり全体としては前年同期を下回りました。メッキ関連の国内市場は自動車メーカー各工場の稼働率向上により回復基調となったものの前年同期比では減少、海外市場は中国食品軟包装分野が引き続き力強い回復をみせ、グラビア印刷業界好調の影響で前年同期を上回りました。

その結果、当セグメントの売上高は4,004百万円（前年同期比12.9%減）、営業利益は731百万円（同0.9%減）となりました。

(混合系製品)

プリント配線板市場は、一般家電品、自動車関連及びアミューズメント業界の低迷により前年同期を下回りましたが、テレワーク等の拡大により海外PC関連分野は引き続き堅調に推移しました。電子部品関連は国内外ともに5G市場が堅調に推移し、前年同期を上回る結果となりました。

また新たな電池関連の製品も性能向上・量産化を進めており販売が拡大しつつあります。

その結果、当セグメントの売上高は647百万円（同11.6%減）、営業損失は23百万円（前年同期は営業利益0百万円）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、2020年4月1日付の組織変更に伴い報告セグメントごとの業績をより適正に反映させるため、報告セグメント間の経費の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

このため、前第3四半期連結累計期間の各セグメントの営業利益又は損失については変更後の算定方法により組替えて比較を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は15,948百万円と前連結会計年度末に比べ、262百万円減少しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ711百万円減少し9,351百万円となりました。これは、現金及び預金が481百万円、受取手形及び売掛金が158百万円、商品及び製品が62百万円、電子記録債権が9百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ449百万円増加し6,597百万円となりました。これは、有形固定資産が305百万円、投資その他の資産が142百万円増加したこと等によるものです。

流動負債は前連結会計年度末に比べ266百万円減少し1,412百万円となりました。これは、電子記録債務が18百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が36百万円、未払法人税等が109百万円、賞与引当金が102百万円、役員賞与引当金が28百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ13百万円減少し509百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が19百万円減少したこと等によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ17百万円増加し14,026百万円となりました。これは、利益剰余金が16百万円、自己株式の取得により31百万円、為替換算調整勘定が20百万円減少しましたが、その他有価証券評価差額金が88百万円増加したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から218百万円増加し1,877百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は431百万円(前年同期比38.8%減)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益296百万円(同1.7%減)に対し、賞与引当金の減少額102百万円(同3.9%増)、未払消費税等の減少額97百万円(前年同期は増加額178百万円)、法人税等の支払額139百万円(前年同期は還付額29百万円)などがあつたものの、減価償却費249百万円(前年同期比7.6%減)、売上債権の減少額168百万円(前年同期は増加額26百万円)、たな卸資産の減少額51百万円(前年同期比57.1%減)があつたこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は63百万円(前年同期は減少29百万円)となりました。これは主として、定期預金の預入による支出3,070百万円(前年同期比18.6%減)、投資有価証券の取得による支出108百万円(同48.6%減)、有形固定資産の取得による支出522百万円(同248.0%増)などがあつたものの、定期預金の払戻による収入3,770百万円(同0.3%減)があつたこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は252百万円(前年同期比14.1%増)となりました。これは、配当金の支払額221百万円(同0.1%減)、自己株式の取得による支出31百万円(前年同期は-)があつたことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間につきましては、概ね予想の範囲内で推移しておりますので業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,630,307	6,148,591
受取手形及び売掛金	1,582,599	1,424,347
電子記録債権	311,188	301,834
商品及び製品	728,440	665,531
仕掛品	303,668	305,825
原材料及び貯蔵品	464,103	471,545
その他	45,722	42,592
貸倒引当金	△3,659	△9,247
流動資産合計	10,062,370	9,351,020
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,498,883	4,508,935
減価償却累計額	△3,192,976	△3,249,454
建物及び構築物 (純額)	1,305,906	1,259,480
機械装置及び運搬具	6,743,498	6,809,129
減価償却累計額	△6,266,429	△6,359,710
機械装置及び運搬具 (純額)	477,068	449,419
工具、器具及び備品	1,169,283	1,195,912
減価償却累計額	△1,008,207	△1,048,629
工具、器具及び備品 (純額)	161,075	147,283
土地	2,598,880	2,598,880
建設仮勘定	7,775	401,571
有形固定資産合計	4,550,707	4,856,633
無形固定資産		
投資その他の資産	67,299	67,832
投資有価証券	1,377,231	1,603,440
繰延税金資産	133,059	54,008
その他	34,566	30,081
貸倒引当金	△15,122	△14,990
投資その他の資産合計	1,529,734	1,672,540
固定資産合計	6,147,741	6,597,007
資産合計	16,210,111	15,948,027

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	467,533	430,678
電子記録債務	520,432	539,131
未払金	151,896	188,790
未払費用	—	1,350
未払法人税等	110,326	603
賞与引当金	205,355	102,713
役員賞与引当金	28,000	—
その他	195,240	149,194
流動負債合計	1,678,785	1,412,461
固定負債		
役員退職慰労引当金	62,582	68,278
退職給付に係る負債	459,849	440,802
固定負債合計	522,432	509,081
負債合計	2,201,217	1,921,542
純資産の部		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	12,859,108	12,842,391
自己株式	△696,010	△727,450
株主資本合計	13,833,088	13,784,931
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,924	220,969
為替換算調整勘定	10,835	△9,295
退職給付に係る調整累計額	△3,052	△2,806
その他の包括利益累計額合計	140,707	208,867
非支配株主持分	35,098	32,686
純資産合計	14,008,893	14,026,485
負債純資産合計	16,210,111	15,948,027

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	5,329,584	4,651,759
売上原価	3,492,121	2,985,873
売上総利益	1,837,462	1,665,885
販売費及び一般管理費	1,539,455	1,352,050
営業利益	298,007	313,834
営業外収益		
受取利息	8,604	9,461
受取配当金	11,375	9,942
為替差益	7,935	—
受取ロイヤリティー	524	186
受取補償金	6,087	—
その他	8,155	7,947
営業外収益合計	42,681	27,538
営業外費用		
売上割引	9,000	10,562
為替差損	—	27,303
持分法による投資損失	5,007	5,070
その他	1,204	2,042
営業外費用合計	15,211	44,978
経常利益	325,476	296,394
特別利益		
固定資産売却益	11,607	149
特別利益合計	11,607	149
特別損失		
役員退職慰労金	28,507	—
固定資産除却損	7,432	493
特別損失合計	35,940	493
税金等調整前四半期純利益	301,144	296,051
法人税、住民税及び事業税	62,101	49,531
法人税等調整額	33,724	43,161
法人税等合計	95,826	92,692
四半期純利益	205,317	203,358
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	204,934	204,595
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	382	△1,236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,542	88,045
為替換算調整勘定	△20,315	△21,319
退職給付に係る調整額	87	260
その他の包括利益合計	3,313	66,986
四半期包括利益	208,631	270,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	209,185	272,756
非支配株主に係る四半期包括利益	△554	△2,411

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	301,144	296,051
減価償却費	269,453	249,053
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△707	5,617
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△98,832	△102,642
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,500	△28,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,983	△17,900
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△35,260	5,695
受取利息及び受取配当金	△19,979	△19,403
為替差損益 (△は益)	△1,347	11,743
持分法による投資損益 (△は益)	5,007	5,070
有形固定資産売却損益 (△は益)	△11,607	△149
有形固定資産除却損	7,432	493
売上債権の増減額 (△は増加)	△26,864	168,908
たな卸資産の増減額 (△は増加)	120,054	51,455
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,862	△17,076
未払消費税等の増減額 (△は減少)	178,515	△97,306
未払金の増減額 (△は減少)	△74,727	3,477
未払費用の増減額 (△は減少)	△1,770	1,403
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△13,325	△1,590
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	56,410	59,873
その他	△6,788	△23,519
小計	654,429	551,254
利息及び配当金の受取額	20,812	20,378
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	29,564	△139,979
営業活動によるキャッシュ・フロー	704,806	431,653
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,771,245	△3,070,949
定期預金の払戻による収入	3,781,007	3,770,939
投資有価証券の取得による支出	△210,299	△108,159
有価証券の償還による収入	300,000	—
有形固定資産の取得による支出	△150,255	△522,861
有形固定資産の売却による収入	26,234	150
無形固定資産の取得による支出	—	△6,058
固定資産の除却による支出	△2,910	△400
貸付けによる支出	△2,760	△426
貸付金の回収による収入	481	812
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,749	63,045
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△31,440
配当金の支払額	△221,402	△221,178
財務活動によるキャッシュ・フロー	△221,402	△252,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,746	△23,732
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	447,908	218,347
現金及び現金同等物の期首残高	1,247,336	1,659,368
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,695,244	1,877,716

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

当第3四半期連結財務諸表作成時までの新型コロナウイルス感染症の現状を考慮し、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)について、見直しを行いました。

新型コロナウイルス感染症の収束時期については、2020年の後半から徐々に収束に向かうという前提を置いておりましたが、依然感染者が増え続けている昨今の状況を踏まえ、その収束時期はワクチン接種の広がりとともに2021年後半あたりになると見込んでおります。会計上の見積りにあたっては、それを前提に繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損の検討を行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,597,255	732,328	5,329,584	—	5,329,584
セグメント間の内部売上高 又は振替高	122,280	—	122,280	△122,280	—
計	4,719,536	732,328	5,451,864	△122,280	5,329,584
セグメント利益	738,832	373	739,206	△441,198	298,007

(注) 1. セグメント利益の調整額△441,198千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,004,238	647,521	4,651,759	—	4,651,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	108,731	—	108,731	△108,731	—
計	4,112,969	647,521	4,760,490	△108,731	4,651,759
セグメント利益又は セグメント損失(△)	731,884	△23,207	708,676	△394,841	313,834

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△394,841千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

第1四半期連結会計期間より、2020年4月1日付の組織変更に伴い報告セグメントごとの業績をより適正に反映させるため、報告セグメント間の経費の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の算定方法により作成したものを記載しております。